

糸満市 観光振興基本計画

平成 28 年 3 月
糸満市



目次

はじめに	1
------------	---

第1章 観光をとりまく状況と課題

1 糸満市の上位計画における観光の位置づけ	2
2 国・県・周辺市町の観光振興の位置づけ	3
3 国・県の観光の現状	5
4 糸満市の観光の現状	11
5 糸満市の観光の課題と可能性の整理	28

第2章 糸満市観光の将来像と目指す方向

1 糸満市観光の将来像	36
2 基本方針	38
3 目標数値	39
4 ゾーニング	40
5 ターゲット	42
6 糸満市観光振興基本計画体系	43

第3章 施策と具体的な取り組み

1 地域資源の連携による魅力づくり	44
2 地域産業の連携による産業振興	47
3 糸満市観光の新たな魅力づくり	50
4 地域住民による資源価値の再認識	55

第4章 将来像の実現に向けた方策

1 観光まちづくりの地区別推進計画	58
2 推進体制の構築	61
3 計画の進捗管理	63

はじめに

糸満市は、戦跡・平和学習の場・拠点として、また「海やからのまち」としての水産資源や独自の伝統文化や行事、食文化、南山時代等の歴史的史跡も多く、マリンレジャーの拠点や大型ホテル、大規模集客施設も立地しております。さらに、近年、那覇－糸満間の国道バイパスの全面開通が予定され、交通アクセス機能の向上も期待され、公共交通の利便性向上についての検討も進めております。

また、これまで、大小イベントの開催や観光施設の整備、観光プロモーションなど、多くの事業が推進され、それにより来訪者を増加させてきた経緯があります。

一方で、沖縄県への旅行者は700万人を超え、外国人旅行者の増加も著しい状況です。この観光客の増加に対応し、糸満市としてより質の高い観光受け入れを推進するためには、体系的に観光施策を整理し、地域の関係者で共有を図る必要があります。特に観光事業者だけでなく、農林水産業者、商工業者や一般市民の関わりを持ち、地域の資源として潜在的な価値を引き出すことも進める必要があると考えます。

そこで、平成23年3月に策定した第4次糸満市総合計画において位置づけた観光施策の内容をふまえ、糸満市観光振興の将来像、基本方針と目標、それらを実現する施策と具体的な取り組みを体系的に位置づけるものとして、今回、糸満市観光振興基本計画を策定します。

なお、本計画の計画期間は平成28年度から平成37年度までの10年間とします。本市の観光をめぐる状況の変化等に対応するため、必要に応じて計画の見直しを行います。

【本計画の位置づけ】

